湘南ひらつかメディフェス2017　（市民メディア全国交流集会）

セッション「防災と市民メディア」

日時　　１２月９日（土）１３時３０分～１６時４０分

場所　　平塚市美術館　ミュージアムホール

◆現地からの報告

　九州豪雨「村民みんなでつくるテレビ」が何を伝えたか

　　～福岡県東峰村の取り組みから

東峰テレビ総合プロデューサー　岸本　晃さん

（11時20分～13時20分の分科会では、岸本さんが詳細に報告します）

◆基調講演

災害復興における市民メディアの役割

～被災者の声に学ぶ生活再建情報の伝達～

弁護士（銀座パートナーズ法律事務所）・災害復興法学　岡本　正さん

◆パネルディスカッション

住民が「自分ごと」にした情報発信とは

（コーディネーター）　　　　　　　　　　ＦＭ湘南ナパサ　山田美智子さん

（パネリスト）　　　銀座パートナーズ法律事務所　弁護士　岡本　　正さん

時事通信解説委員、「TEAM防災ジャパン」　中川　和之さん　　　　　　　　　　神奈川県理容生活衛生同業組合平塚支部　古市　久紀さん

東海大学3.11生活復興支援プロジェクト学生など平塚の防災活動の取り組み

ドローン活用防災など　（株）エムテックス　高 英雄さん、河田眞道さん

水害リスク情報の可視化　（株）地圏環境テクノロジー 青木純一さん

（総合進行）　　　　東京新聞編集委員、「横浜市民放送局」　鈴木賀津彦さん

◆これまで平塚の防災市民活動の中心で活動されてきた山田美智子さん（FM湘南ナパサ）をコーディネーターに、あらためて防災と市民メディアの機能、発信すべき情報、市民参加と連携のあり方などを話し合います。

◆今年の九州北部豪雨でのＣＡＴＶ「東峰テレビ」（インターネット配信一体型）の取り組みの報告、「災害復興法学」を提唱する弁護士岡本正氏の基調講演を踏まえ、平塚での市民の活動（SCNクラブとナパサクラブ制作、SCNとFM湘南ナパサで同内容で放送している番組『地震！その時あなたは』に出演した方々――被災地支援を行った東海大学学生や平塚市理容組合など）が報告。その後、参加者みなさんと防災のネットワークづくりを目指し、ディスカッションを行います。

防災、そして災害復興での市民自らの情報発信の役割を一緒に考えましょう！